



HAN環境・建築設計事務所
HAN ARCHITECTURE DESIGN

自然の力を生かす 美しい家づくり

「性能」と「美しさ」を両立させる

私たちが大切にしていることは、
耐久性、耐震性、耐火性など、基本性能に優れた家であること。
冬暖かく、夏涼しい快適な家であること。
美しい家であること。

そこに建主と共に、暮らしへの思いを重ねて丁寧な家づくりをしています。





数値に表れないものも、大切にする

私たちの設計する住宅では次の性能を確保するよう計画を進めています。

耐震等級	等級3を基本とする。許容範囲は2以上。
断熱性能(UA値)	HEAT20 G2以上を基本とする。許容範囲はG1以上。
気密性能(C値)	0.5以下を基本とする。許容範囲は1以下。

しかし、実は数値には表れないものが、快適な暮らしに大きく影響します。高い断熱・気密性能値を持つ建物も、方位や窓の位置が適切でなければ冬の日射量が少なく、室内は暖かくなりません。また、隣家(建物や外壁)や道路から伝わる熱「輻射熱」を適切に防がなければ、窓からじわじわと熱が伝わり、夏は室内が暑くなります。

エアコンはとても効率の良い設備ですが、それだけに頼ると、室内の温度ムラにより体に負担が生じてきます。私たちは、建物の性能値も考慮すると同時に、周囲の環境も考えながら、太陽・風・緑・水といった自然の持つ力をうまく生かした、合理的で快適な家づくりを考えています。

快適で、美しく、飽きのこないデザイン

軒や庇・窓・断熱・気密・蓄熱など、建物に関わる部位。
庭や道路、隣家の配置など、外環境に関わる部位。

快適な温熱環境をつくるこれらの要素をバランスよく取り込みながら、スッキリした美しい納まりにすることは、経験のある設計者でも難しい部分です。

例えば、断熱性能の高い窓は、それなりに厚みが出てきたり、製品が限定されます。そのまま取り付けると「製品を取って付けました」という印象になり、せっかくの室内と外とのつながりが突如切れたような違和感が生じるのです。

あらゆる部位で、建主や私たちが見て、違和感なく自然で美しい設えにするには(考慮しない場合と比べると)何倍もの時間と労力がかかりますが、ここに注力できるのが私たちの強み。建主にとって「心地よいな」と思えるバランスを実現していきたいと考えています。



終活を見据えた家づくり[久我山の家]

設計：南澤圭祐

土地と建物の遺産相続と、早期退職。2020年に竣工した「久我山の家」は、人生の大きな出来事を経て「これからどう暮らしたいか」という建主の思いを形にした住まいです。現在のアクティブな暮らしと、終の住処という異なるシーンのどちらも豊かに過ごせるよう、建主と検討を重ねてから約1年。現在の住まい心地をインタビューさせて頂きました。

[久我山の家]



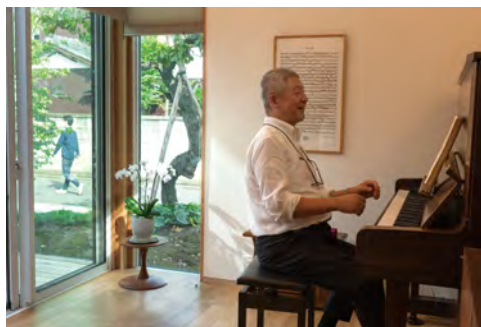
住まい心地はいかがですか？

気持ち良いですね。毎日中庭や太陽の明るさを感じながら暮らしています。この敷地には塀がないので、とてもオープン。この庭になってから、ご近所さんから話しかけられるようになりました。周りの人と打ち明けやすくなり日々の会話も増えて楽しいですよ。

なぜ定年後に家づくりをご決断されたのですか？

両親が残してくれた旧家屋は私で3代目を迎えていて、改修を繰り返しながら現在に至っていました。昔の住まいは断熱・気密性が高くないので、夏暑しい、冬寒い。以前の建物は58坪あったのですが、一人で暮らすには広すぎて管理も大変です。これからの暮らし方に合わせて建て替えようと思ったのです。

実は、設計前に「どんな家にしたいか?」という南澤さんからのご質問に、「よく」死ぬ家」と書いたんです。いずれ体の自由が効かなくなった時も、施設に入らず、介護ヘルパーさんに来てもらって、死ぬ間際まで家を満喫したい。寝たきりになったら、今音楽室で使っている離れの部屋に介護ベッドを置いて、好きなものに囲まれて、柔らかい日差しや庭を眺め、季節を感じて過ごしたい。そう思っています。



音楽がご趣味の建主。仲間と共にセッションを楽しむ音楽室にはシャワーやトイレも設置。友人の宿泊場所でもあり、将来は介護ベッドを置いて過ごす部屋に。



1階はホテルのような自分だけの空間に。東と南に面した腰窓の光はアール天井を流れていく。朝の起きがけに天井をつたう光を見るのが好き、と建主。



Interview 1

左：インタビューに応じてくださった建主 / 右：設計を担当した南澤圭祐

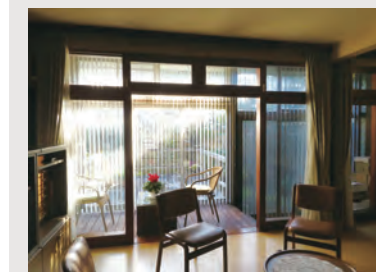
なぜ当社にご依頼を？

HANさん(当社)の魅力は、デザインだけでなく庭や自然を取り入れながら、高气密・高断熱を実現されていた所です。できる範囲で自然の素材や原理をうまく使って、効率の良い事ができそうだなと思ったことが決め手でした。南澤さんは「久地の家」で、過去に終の住処を設計された実績もあったし、こちらの気持ちも分かってくれそうな事も大きかったですね。



[街に開く、中庭のある家]

プライバシーを大切にしていた旧家屋から、街に開いたデザインへ。将来、ヘルパーさんが出入りしやすい動線を考慮した設計。
<before / after>



[記憶を残す]

旧家屋の建具や小物を新居でも再利用。サンルームの建具は新居の仕切り扉に。新築でありながら、至る所に思い出が詰まった住まいに。
<before / after>



子どもの居場所はどのようにつくっていますか？

子ども専用の居場所は、1階のスタディコーナーと、2階の子ども部屋です。子ども部屋は吹き抜けて1階リビングと繋がっています。まだ小学生なので、勉強などは1階のスタディコーナーを利用しています。家族の気配が感じられる場所で宿題をした方が落ち着くみたいです。時おり、自分だけの空間で集中したい時、ゆっくりしたい時は2階へ行く、といった感じですね。

2階の窓からは目の前の公園の様子がわかるので、しょっちゅう覗いては、「あ！友達がいるから行って来る！」と遊びに出かけて行きますね。



1階のスタディコーナー。リビング・ダイニングの側にあるので子どもの宿題の様子を見ながら作業ができる。



2階の子ども部屋。1階と繋がる明るい空間に。成長にあわせて建具で2部屋に仕切ることが検討中。

子どもを育む、理想の家づくり[青葉台の家]

設計：松田 毅紀

[青葉台の家]



横浜市にある「青葉台の家」は、目の前が公園という緑豊かな立地を生かした戸建住宅です。子育て真っ最中のご夫婦に、快適な暮らしの様子や、子どもの居場所づくりについてインタビューさせていただきました。

住まい心地はいかがですか？

以前は庭付きマンションの1階に住んでいたのですが湿気が多くカビが発生しやすい面があって、それが本当に嫌だったんです。ここに住んで3年目になりますが、断熱・気密がしっかりしていて、カビとは無縁なので安心して暮らしています。

あと、この家はエアコンが1階と2階に1台づつしかないんですよ。住む前は「それだけで足りるの？」と半信半疑でしたが、実際、夏は2階のエアコン1台を稼働させるだけで、家全体が快適になる日がほとんど。南面に大きな窓がありますが、冬場は部屋の奥まで日差しを取り込んでくれますし、夏場はブラインドをうまく使って快適に過ごせています。

なぜ当社にご依頼を？

もともと建築が大好きで、「いつか自分たちの家を建てたいな」と思いつつ、なかなかピンとこないまま過ぎていたんです。ある時、友人が家を建てたことを契機に本腰を入れて探し始め、もし建てて頂いたらデザイン一辺倒ではなく、「住環境の快適さに関する知見」もお持ちの方をお願いしたいと考えていました。

そんな時に「パッシブデザイン」という言葉を知り、偶然HANさんのホームページに行き着いて。テイストとコンセプトが私たちに合いそうだなと思い、連絡を取ってみることにしたんです。

そもそも建築家をお願いできるものなのか検討もつきませんでした。松田さんにお会いすると、とても穏やかで一緒に家を建てるのがごく自然なことかのように私たちの話を聞いてくれました。

土地もこれから探すという状況でしたが、土地探しコーディネーターの方にもその場で連絡を取ってくれて、運よくお会いすることができ、家を建てるのが急にリアルになってきました。その日帰る頃には、「設計はぜひ松田さんをお願いしたい！」とすっかりその気になっていました。実際、私たちの細かな注文に一つ一つ丁寧に応えてくれたにもかかわらず、大切な要望は全て叶えてくれたので、本当に感謝していますし、とっても快適に過ごしていますよ。



インタビューに応じてくださったご夫婦。公園の借景が楽しめる1階のテラスにて。週末にはここで子どもたちとちょっとしたバーベキューを楽しむこともあるそう。



暮らしにちょうど良いデザインを。[早宮の家]

設計：南澤圭祐

[基本DATA] 所在地：東京都 / 耐震等級：2 / 温熱性能(UA値)：0.51 / 気密性能(C値)：0.5

私たちの仕事は、建主と共に想い描いたイメージを現実的な施工に落とし込んでいくための「取りまとめ役・調整役」も担っています。建主・工事関係者・私たちが協力して完成させる、住まい手のための家づくり。設計者の目線で、いくつかデザインのポイントをご紹介します。

[早宮の家]



窓 都内の住居では、窓は防火対応が必要です。[早宮の家]では、サーモスX(防火仕様)の既製品を組み合わせた大開口を計画。

取付け方を少し工夫して出来るだけ厚みのあるサンが目立たないようにしています。窓廻りのディテールは設計で特に注意するところで、納まりも多種多様ですが、懲りすぎず、何でもない納まりだけでもよく見ると「何か違う」程度が日常の暮らしにはちょうど良いと考えています。



温熱 2階は幅9.1m、高さ2.6mの大開口、デッキテラスに開いたLDK、ワークコーナーのあるワンルームです。冬に備えて「床下エアコン」を採用し、1階床下や天井裏に暖気を流して家全体の暖房を計画しています。

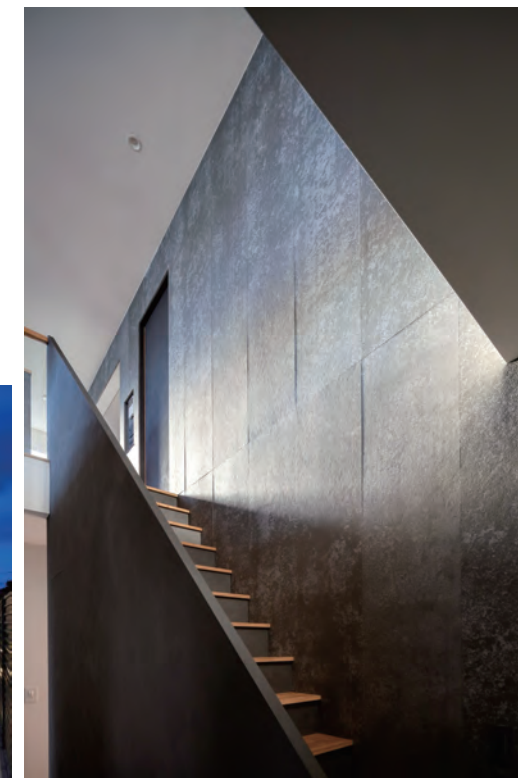
ワークスペース LDKと間仕切り壁で隔てた場所に計画。2019年ではこれほど活用されるとは想定していませんでしたが、建主から「快適にテレワークしてます!」と、嬉しいご報告をいただきました。

間仕切り ワークスペースの間仕切りは、素材を生かした黒皮鉄板。無機質な工業製品を思い浮かべる鉄ですが実は固くて柔らかい妙艶な表情を持つ素敵な素材です。



壁 外壁や内装の壁にはセメントの質感を持った無垢の建築素材「SOLIDO」を採用しました。一枚と同じものがない自然素材の様な工業製品な印象、素朴な素材で仕上げをコントロールしてないため白華の色むらなどあり、施工は大変ですが、時間と共に表情が移り変わる風合いが楽しめます。「製造や施工で発生する廃材はリサイクルされ環境負荷の軽減も考えている」とのことも共感しています。

照明 あかりは、その場所の目的に応じた照度になるよう設計をしています。大きなLDKなので、空間の広がり心地よさを得られるよう、天井の北側に間接照明を入れています。



HAN環境・建築設計事務所

〒154-0022 東京都世田谷区梅丘 1-59-28 梅ラウンジ 1F
 TEL 03-5799-4285 / FAX 03-5799-4287
 URL <https://www.han-arc.com>

戸建住宅 / 二世帯住宅 / リノベーション / 集合住宅 / 店舗 / 施設など、
 環境に配慮した建築の提案及び設計監理
 一級建築士事務所登録番号 (57295 東京都)

スタッフ



松田毅紀
 一級建築士 / BIS認定資格

1965年 東京都生まれ
 1986年 麻布大学獣医学部獣医学科入学
 1992年 東京職業訓練短期大学卒業
 1996年 HAN環境・建築設計事務所 所属
 2005年 同事務所 設計統括就任
 2011年 同事務所 代表就任



南澤圭祐
 一級建築士 /
 ファイナンシャルプランナー3級

1974年 東京都生まれ
 1995年 YMCAデザイン研究所卒業
 1995年 組織、アトリエ設計事務所 所属
 2000年 伊藤寛アトリエ 所属
 2007年 南澤建築設計事務所 設立
 2009年 HAN環境・建築設計事務所 参画



福田孝祐
 一級建築士

1976年 広島県生まれ
 2000年 横浜国立大学工学部建築学科卒業
 2002年 横浜国立大学大学院工学研究科卒業
 2004年 HAN環境・建築設計事務所 所属
 2019年 パッシブデザインプラス株式会社 設立
 2019年 HAN環境・建築設計事務所 参画

賞歴

- 2000年 第7回 千葉県建築文化賞 奨励賞 「江戸川台の家」 / 戸建住宅
- 2003年 第4回 JIA環境建築賞 優秀賞 「江戸川台の家」 / 戸建住宅
 第7回 TEPCO快適住宅コンテスト 最優秀賞 「榊ハウス」 / 環境共生型コーポラティブハウス
- 2004年 第8回 TEPCO快適住宅コンテスト 優秀賞 「大銀杏の家」 / 戸建住宅
 第2回 日本都市計画家協会賞 まちづくりプロジェクト部門 大賞 「榊ハウス」 / 環境共生型コーポラティブハウス
- 2006年 第10回 TEPCO快適住宅コンテスト 佳作 「風の社」 / 環境共生型コーポラティブハウス
 第8回 都市住宅プロポーザルコンペ最優秀賞 「コートデコ洗足レイクサイド」 / 環境共生型タウンハウス
- 2007年 グッドデザイン賞 「コートデコ洗足レイクサイド」 / 環境共生型タウンハウス
- 2008年 世田谷区環境表彰 みどりの建物部門 「榊ハウス」 / 環境共生型コーポラティブハウス
- 2009年 グッドデザイン賞 「トレステージ浜田山」 / 環境共生型賃貸集合住宅
- 2010年 第7回 真の日本の住まいコンテスト 林野庁長官賞 「板倉造の家」 / 戸建住宅
- 2011年 第23回 栃木県マロニエ建築・景観奨励賞 「春わらう舎」 / 特別養護老人ホーム
- 2014年 第2回 埼玉県環境住宅賞 最優秀賞 「森林公園の家」 / 戸建住宅
- 2015年 パッシブデザインコンペ2015 大賞 「長野の家」 / 戸建住宅
 パッシブデザインコンペ2015 佳作 「森林公園の家」 / 戸建住宅
 第1回 日本エコハウス大賞 優秀賞 「長野の家」 / 戸建住宅
- 2018年 第4回 日本エコハウス大賞 ガラス繊維協会賞 「長野市若里の家」 / 戸建住宅
- 2019年 第5回 日本エコハウス大賞 審査員賞 三澤文子賞 「多摩丘陵の家」 / 戸建住宅・リノベーション

戸建住宅 (2018-2020)



野野の家 / 戸建住宅



久我山の家 / 戸建住宅



早宮の家 / 戸建住宅



青葉台の家 / 戸建住宅



多摩湖町の家 / 戸建住宅



多摩丘陵の家 / リノベーション



深沢の家 / 戸建住宅



高田の家 / 戸建住宅



菊名の家 / 戸建住宅

集合住宅 (2017-2020)



板倉シェアハウス / シェアハウス



GranDuo 等々力 / 集合住宅



Ume lounge / 集合住宅

その他実績は、当社ホームページをご覧ください。